

こんにちは 議会です!!



神あかりでまちのにぎわいを



- 29年度決算を審査 …… 2
- 決算特別委員会 …… 4
- 9月定例議会 …… 6
- 臨時議会・行政報告 …… 8
- 総務常任委員会 …… 10
- 産業建設常任委員会 …… 11
- まちの課題 …… 12
- 子ども議会^(12人の子ども議員がまちづくりを問う) …… 13
- 町政を問う(9人が一般質問) …… 16
- まち・ひと・しごと!! …… 22

歳出

決算額 51億5218万円

約3.7億円の増加 (前年度比)

新たな施設の整備で、大きく増加 (認定こども園、消防センター、空調・太陽光設備など)

防災・行政事務・その他

7億3929万円

- 総務費 5億2827万円
消防費 2億127万円
災害復旧 975万円

将来への積立て

1億655万円

- 中央公民館建設 2675万円
まちづくり基金 189万円
財政調整基金 2766万円
減債基金 5025万円

地方債の返済

6億4343万円

まちづくり

12億5333万円

- 土木費 4億9121万円
農林水産業費 2億7114万円
環境衛生費 3億1108万円
商工費 6109万円
議会費 7140万円
上水道繰出金 4741万円

教育・生涯学習 (学校教育など)

10億4411万円

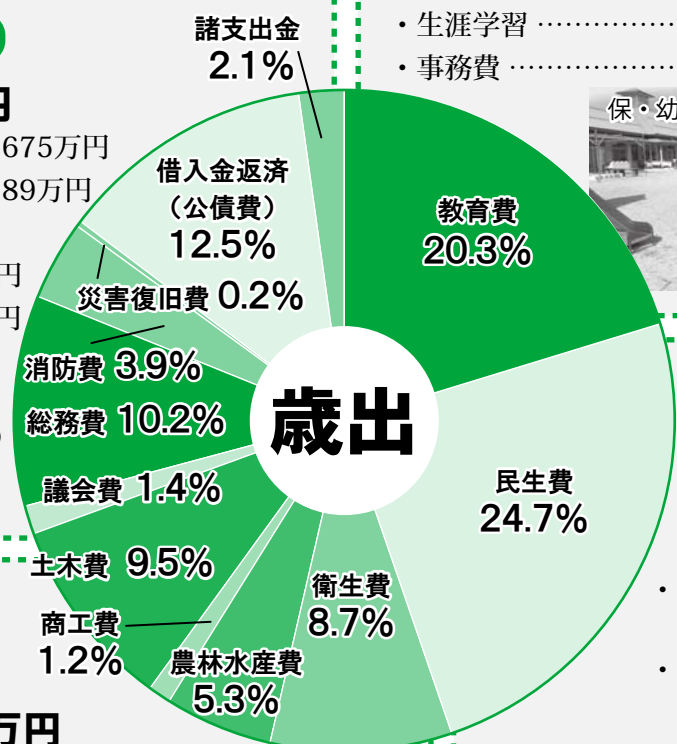
- 幼稚園 6722万円
小学校 1億7913万円
中学校 8963万円
生涯学習 6億1065万円
事務費 9748万円



健康づくり・福祉

13億6547万円

- 社会福祉 6億6825万円
児童福祉 6億692万円
保健衛生 9030万円



基金の残高は
Table with 2 columns: 区分, 現在高 (万円)

基金の残高は

歳出の構成は
教育費、民生費、衛生費、公債費が大きく増加

歳出の構成は

約3.5億円の増加 (前年度比)

決算額 53億4624万円

歳入

個人・法人住民税が減 基金からの繰り入れ増
軽自動車税・たばこ税は増収

29年度決算を審査

借入れ金 (地方債の新規発行) (約3億円増)

7億2542万円

- 臨時財政対策債 1億9122万円
社会資本整備 9690万円
あけぼのパーク空調工事 1億2300万円
認定こども園整備 9860万円

町税 (約8700万円の減収)

18億8550万円

- 住民税 (個人・法人ともに減) 6億6207万円
固定資産税 11億4483万円
軽自動車税 2773万円

地方交付税

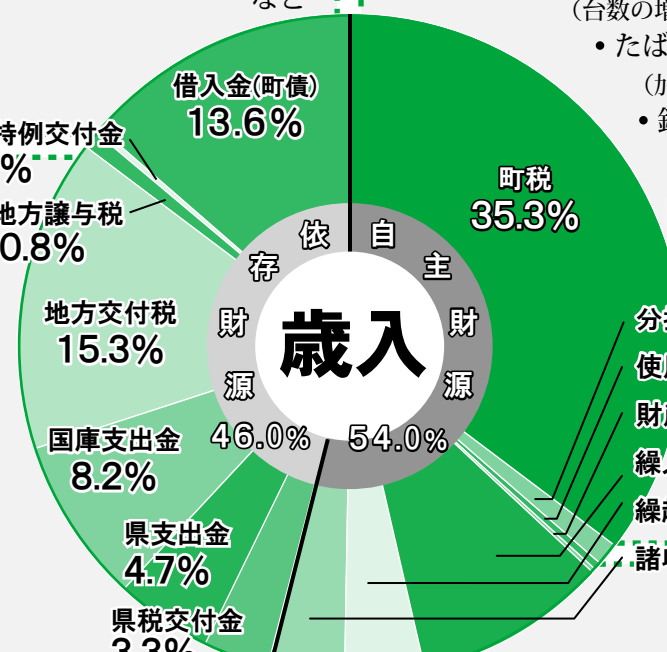
8億1860万円

国庫支出金

4億3949万円

県支出金

2億4858万円



繰入金他 10億472万円

- 他会計からの繰入金 5億1030万円
前年度からの繰越金 2億1635万円
諸収入 1億8879万円

29年度 地方債 (万円)

Table with 2 columns: 項目, 金額

地方債の残高は

財政力の指数 0.7
実質公債費比率 6.6%

財政は健全か

自主財源が 54%
依存財源が 46%

財政の構造は (歳入)

行政事務・防災

(総務・消防・集落支援
公共交通・税務・会計)

| おもな決算項目 | (万円) |
|-------------------|--------|
| まちづくり活動支援(39集落) | 1895 |
| 自治振興交付金(2集落) | 982 |
| 三朝町と友好都市盟約締結 | 100 |
| ふるさと納税の返礼品(95件) | 59 |
| 福祉バスの運行委託料 | 461 |
| 愛のリタクシー事業負担金(3路線) | 1630 |
| 路線バス運行補助(4路線) | 3755 |
| 若者定住支援(67件) | 501 |
| 空き家対策(改修1件、除却4件) | 200 |
| 6町行政システム共同利用負担金 | 4589 |
| 彦根市消防へ事務の委託 | 1億446 |
| 多賀町消防団の活動費 | 1985 |
| 災害対策(防災備品購入、防災会議) | 592 |
| 地方債の返済(元金分) | 5億9586 |
| 〃(利子分) | 4757 |

問 歳入の地方交付税が減った理由は

答 交付額は前年度の町税収入に基づく。28年度は町税収入が多かったためである。

問 たばこ税が増収となった理由は

答 加熱式たばこの売上げだけではない。新しくコンビニが増えたこともあり、約26000箱増えたことによる。

問 空き家の除却は4件だが、どこか

答 多賀2件、小原1件、菅原1件である。



問 6町行政システム共同利用の負担額は高額だが、増えていくのか

答 この負担金は、11年間の債務負担が設定された契約に基づいている。総額6億3396万円を分割しているもので、増えるわけではない。

問 近江鉄道の存続問題は

答 県が再編を検討していると説明があった。コンサル会社が再編計画を示す。各市町が負担金を検討することになる。

おもな決算項目 (万円)

| | |
|-------------------|--------|
| 配食サービス(9人分) | 273 |
| 介護保険事業(特別会計へ) | 1億2506 |
| 後期高齢者医療事業(特別会計へ) | 2903 |
| 福祉医療費 | 6127 |
| 児童手当(0~15歳) | 1億2225 |
| 出産奨励祝い金(3人目から) | 105 |
| 長寿祝い金 | 90 |
| 社会福祉協議会補助金 | 3081 |
| 老人クラブ活動補助 | 97 |
| 地域サロン事業 | 71 |
| 障害児放課後児童クラブ | 294 |
| インフルエンザ予防接種 | 643 |
| 育児用品助成(粉ミルク・紙おむつ) | 199 |
| 妊婦健診 | 539 |
| 不妊治療 | 97 |

福祉・健康づくり

(高齢者福祉・障害者福祉
児童福祉・母子保健・子育て支援)



問 介護保険の総合事業の実績は。不用額がでているが

答 利用者が少なかつた。不用額がでないよう、予算の精度を高めた。



問 インフルエンザの補助は何人分か。一人当たりの補助単価は

答 1763人分。一人当たり3640円の補助。

問 臨床心理士の活動は

答 子ども家庭応援センターと小中学校でカウンセリングをする。育児や不登校など、親の不安だけでなく、友達関係など子どもの相談にも対応。

問 児童手当の支給方法と対象は

答 年3回支給する。0歳から15歳までの約900人に支給した。

まちづくり

(農林水産業・商工・観光・
土木・環境衛生・災害復旧)

| おもな決算項目 | (万円) |
|---------------------|--------|
| がんばる商店応援補助金(9件) | 1520 |
| 観光名所ライトアップ事業 | 500 |
| 観光協会への補助 | 530 |
| 商工会への補助 | 770 |
| 農村まるごと保全対策補助(17団体) | 1188 |
| 環境保全型農業交付金(5団体) | 1367 |
| 中山間地農業支援(栗栖・霜ヶ原ほか) | 181 |
| 獣害防止対策補助(15団体・18個人) | 561 |
| 有害鳥獣駆除業務 | 1133 |
| 特産物生産補助(そば・ニンジン) | 216 |
| 町産材利用住宅補助(4件) | 376 |
| 森林環境学習事業(やまのこ) | 976 |
| あけぼのパーク太陽光設備工事 | 1億5420 |
| 道路橋梁費(絵馬通りほか) | 2億1396 |
| 公共下水道(特別会計へ繰出し) | 1億1127 |

問 あけぼのパーク太陽光発電工事で、当初と3700万円の差額が生じた理由は

答 環境省からの指導で、太陽光パネルの枚数を減らしたため。

問 電気代は節約できたのか

答 年間の効果を調査中。

問 木材供給調査の結果は

答 製材・乾燥施設の導入に向けた調査結果が今年度中に出る。

問 シカ肉の販売状況は

答 大口の販売は中止しているが、高取山、学校給食に使用し、道の駅でも販売している。

問 ゴミの不法投棄は

答 大君ヶ畑と菅原に監視カメラを設置し、投棄は減った。



問 集落除雪は

答 多賀と富之尾に、重機を貸し出している。木曾にはトラクターでの除雪を補助している。

問 融雪剤散布は

答 車での散布は、塩化ナトリウム。袋入りのものは塩化カルシウム。

おもな決算項目 (万円)

| | |
|-----------------|--------|
| 中央公民館建設費(29年度分) | 1億7200 |
| 〃(建築用木材調達) | 4860 |
| 〃(解体設計業務) | 125 |
| 小学校体育館耐震化LED化 | 4956 |
| 中学生通学バス定期代補助 | 498 |
| 中学生海外研修(生徒8人) | 484 |
| 中学校トイレ改修調査委託 | 76 |
| 認定こども園増改築工事 | 1億1286 |
| 外国語指導委託 | 232 |
| 放課後児童クラブ運営費 | 1233 |
| あけぼのパーク空調設備工事 | 1億3025 |
| 胡宮神社社務所修理 | 877 |
| 歴史文化基本構想策定業務 | 146 |
| 体育施設管理計画策定 | 226 |

問 中学校トイレ改修は

答 八幡中と稲枝中を視察した。生徒にはアンケートを実施。改修のイメージ案を2種類作成した。

問 保育園の正規職員と臨時職員の数は

答 正規職員が23人。臨時職員が31人。

問 働き方改革の影響は

答 32年度から新制度になることから、人件費のアップが予想される。

問 放課後児童クラブの指導員の配置は

答 所長1人、常勤5人、補助員4人の交代制。

教育・生涯学習

(幼児教育・学校教育
・図書館・公民館
博物館・スポーツ・文化財)



問 体育施設管理計画策定について。勤労者体育センターの今後は

答 住民への意識調査では、8割が統合すべきと答えている。完全な改修であれば、1億9000万円かかると示された。大規模な改修は考えていない。スマートインターや駅前の開発と合わせて、結論を出したい。



この一年 まちの 財政の動き

29年度の決算を 審議・認定しました

◎一般会計

- 歳入決算 53億4624万円
- 歳出決算 51億5218万円

◎監査委員の報告

- 収支は1億8042万円の黒字である。
- 自主財源は54%で前年度比は微減である。
- 町税収入は増収であるが、消費的行政経費も増額である。
- 町税の収納率は県内高位であるが、収納未済額は増加傾向である。
- 健全化判断比率は良好で、健全財政は維持されている。
- 特別会計実質収支額も9051万円の黒字である。

代表監査委員 寺西 久和

補正予算を審議 可決しました

◎一般会計(第4号)

◎地方債補正

6559万円増

◎介護保険事業

特別会計

128万円増

◎水道事業会計

609万円増

条例の一部改正を 可決しました

◎主な改正点

- 働き方の多様化を踏まえた個人住民税の見直し
- 加熱式たばこの課税方式など、たばこ税の見直し
- 中小企業の設備投資支援として、固定資産税の見直し
- 地方税の電子化に伴う改正

多賀中学校通学バス 購入契約の締結をしました

※購入理由

31年3月末で路線バス(菅原・大君ヶ畑線)が廃止されるため。

購入額

1342万円

購入業者

滋賀日野自動車(株)

財源

県補助金 368万円

町費 974万円

乗車人員

45人乗り(中型バス)



29年度特別会計決算を 認定しました

◎国民健康保険

◎介護保険事業

◎後期高齢者医療事業

◎育英事業

◎多賀財産区管理会

◎大滝財産区管理会

◎霊仙財産区管理会

◎水道事業

◎農業集落排水事業

◎びわ湖東部中核工業

◎団地公共緑地維持管理

◎水道事業会計

教育委員に 再任されました

森 清美 氏 (川相)

陳情を 採択・決議しました

◎2025日本万国博覧会の大阪・関西への誘致に係る賛同の意を示す決議

予算特別委員会

9/14

30年度補正予算を審査しました

| おもな内訳 | (万円) |
|------------------|------|
| 消防団員 防塵マスク整備 | 31 |
| 一円屋敷の民泊化へ補助 | 950 |
| 障害者自立支援のシステム改修 | 130 |
| ピロリ菌検査(70人分) | 6 |
| 粗大ゴミ収集追加費用 | 209 |
| 高宮池配水ゲート補修 | 509 |
| 農業用水路改良補助(久徳・樋田) | 93 |
| 高取山 屋外トイレ改修 | 226 |
| がんばる商店応援補助 | 300 |
| 道路補修費 | 170 |
| 橋の長寿命化工事 | 1015 |
| 河川愛護(太田川 川浚え)補助 | 51 |
| ささゆり保育園臨時保育士賃金 | 1646 |
| 学校の銅像・庭石等倒壊防止 | 54 |

高宮池配水ゲートの管 理と余水吐き石積部分 の補修も必要では

管理は職員が行う。 池の水深は6~7m。 補修も必要と認識して いる。 今後の課題としたい。



安全管理を

高宮池配水ゲート

農業用水路改良工事 の補助率と後継者は

後継者は当面大丈夫。 補助率は30%。

がんばる商店応援補助 の、その後の状況は

24年から制度を利用 された各店舗を今後調 査していく。 多くは2~3年かけ て固定客を得て、軌道 に乗せられる。

橋の長寿命化工事への 追加は

金屋橋の設計を計画 していたが、隣接の甲 良町と経費の按分があ り、先行出来ないこと から、大滝橋の補修工 事に振替する。



新たなにぎわいを

新規開業予定地(富之尾)

河川愛護の補助は

太田川の川床に土砂 が堆積しており、水害 の危険が高まっている。 長年、多賀区から太 田川の川浚えの要望が あり今回、区の事業に 補助をする。

学校のブロック塀等 倒壊防止対策は

大阪北部地震では、 通学路のブロック塀が 倒壊し、小学生一人が 死亡した。 調査の結果、町内の 通学路のブロック塀につ いては危険な箇所はな かったが、学校の銅像・ 庭石・石碑について、 倒壊防止の工事をする。



川をきれいに

太田川(多賀)



倒壊防止を

多賀中学校

観光の滞在時間延長へ



一円屋敷

一円屋敷

補正予算を審議・可決しました

◎30年度下水道事業特別会計

●藤瀬地区
雨水排水路整備費
1162万円(増)

◎藤瀬地区現地視察



29年度一般会計決算の概要

歳入決算額は53億4624万円、歳出決算額は51億5218万円、歳入歳出引当額1億9406万円を繰り越し、この内、繰り越し事業に充てる。財源、1363万円を除いた実質収支額は、1億8043万円となり、財政収支の均衡、歳出削減努力により基金への積み立てを行うなど健全財政を堅持できた。

企画課所管

●多賀スマートインターチェンジ整備事業
8月滋賀国道事務所長から連結許可書を受け取り、積極的に事業推進を図る。

●公共交通の再編
菅原・大君ヶ畑線の路線バスを廃止し、代替交

産業環境課所管

●観光関係
地方再生推進交付金の交付決定を受け、今年度もライトアップや地獄めぐり事業を実施。新しい企画を含め活性化に向けて取り組む。

教育委員会所管

●大滝たきのみやこども園
園庭整備は業者選定後着手。
概要は、運動場の全面芝生化・築山・森ゾーン等を整備。

●学校教育課
小・中学生による「子ども議会」を7月に開催。今年度も土曜講座を開講。

福祉保健課所管

●ピロリ菌検査費用助成交付事業の受診者の大幅増加
29年度実績15人
30年6月末時点78人

特定健診

29年度の受診率は60%を超える見込み。受診勧奨の通知送付、保健師の個別電話等で積極的に受診を呼び掛け受診率の向上に努める。

地域整備課所管

●災害復旧事業
町道入谷線
鋼製金網による擁壁工事を完了し、法面整形、植生シート工事を残す。

●町道四手線
調査結果を基に国と協議、地すべり災害として災害査定を受け、その後工事着手予定。

●多賀絵馬通り線
多賀大社前駅から寿橋間、ブロック舗装工事実施中。



上水道事業

土田地先の新水源は8月に井戸掘削の工事を発注し、安定給水に向け取り組む。

国道8号渋滞対策

国土交通省よりバイパスを含む3ルート帯案が示され、多賀スマートインターチェンジとの連携も含め、より効果が高い道路構築に向け進める。

税務住民課所管

●時間外交付窓口の廃止
コンビニ交付の実施により、利用者減少のため9月末日をもって廃止。

行政視察 研修

7/3

7/4

産業建設 常任委員会

7月3日 岡山県鏡野町 農林業施策

6次産業化事業

特産品開発として、とうがらし、なめこの加工品、あまごの養殖加工品、ジビエ関連商品の開発を進められてきた。

加工所兼産地直売所において、商品開発と加工販売を行っている。

●とうがらしは、NPO法人が古くから栽培されていた特産のとうがらしを「姫とうがらし」と名付け、ドレッシングに加工し販売している。

●なめこは以前から地元で栽培されていたものを「原木なめこ」と名付け缶詰などに加工し販売している。

●あまごの加工品は水産



鏡野町研修

タブレット端末によるペーパーレス化事業

鏡野町議会では、資料の受け取り、保管などの利便性向上と、執行部・事務局の負担軽減を目的として、タブレット端末によるペーパーレス化を実現された。

●具体的には、受け取った資料は全てPDFデータ化し、クラウドに保管する。
●通信環境としては、町内どこでも利用できるLTE回線としている。

●タブレットの配布は、議員、幹部職員、議会職員だけである。
●削減効果は、用紙代、印刷代、製本代、郵送料を含めて121万円の削減につながった。

●LTE回線は通信料が高いため、違う方法の検討が必要である。

総務常任委員会

7月4日 岡山県奈義町

子育て支援施策

26年には合計特殊出生率「2・81」が達成されたことから、平成28年「安心子育ての処方箋」と題し、NHKで全国放送されました。

●24年に「奈義町子育て応援宣言」をされ、子供たちが夢と希望を持ち健やかに育てる環境づくり、若者が定住でき安心して産み育てられるまちづくりを目指されています。

●出産祝金交付事業では第一子10万円、第二子15万円、第三子20万円、第四子30万円、第五子以降40万円が交付されている。



奈義町研修

定住促進施策

●在宅育児支援手当交付金事業として、28年度から、生後6カ月から幼稚園入園前まで、在宅で育児をする保護者に、一人当り月1万円が交付されます。

●高校就学支援金交付事業として、通学費の一部助成を含め、生徒一人当たり年額9万円を3年間全ての高校生に支給。
●高校生までのインフルエンザ感染の予防を図るため、25年度からワクチン接種への助成がされている。

●住宅施策では、6箇所に分譲地を整備され、区画数87、分譲済81区画で分譲率は93%。
分譲地紹介報酬として30万円を交付。
●新築住宅普及促進事業補助金として、町内で新築し、地元業者による施工を行い、県産材を利用すると最大50万円の補助。
●賃貸住宅の整備では、40歳以下が対象の若者住宅が3棟21戸。定住促進住宅1棟60戸が整備されている。若者住宅は満室している。入居者数は190人となっている。月額家賃は、若者住宅で4万5千円から5万円。定住促進住宅は2万2千円から3万円となっている。
●就労の場の確保では、東山工業団地として19区画が既に整備されており、企業誘致においては地元雇用を働きかけている。

住民の健康増進を



健康増進を

ストックウォーク

29年度事業の決算を審査 → 認定しました

(単位：万円)

| 区分 | 歳入 | 歳出 | 事業内容 |
|-----------|--------|--------|-----------------|
| 国民健康保険 | 9億7245 | 9億3961 | 保険給付費(医療費)、保険事業 |
| 介護保険事業 | 8億1430 | 8億1378 | 介護サービス費、地域支援事業 |
| 後期高齢者医療事業 | 1億 29 | 9888 | 広域連合への納付金 |

国民健康保険

問 被保険者数減少の要因は

答 定年が延びて、社会保険への加入者が増えて

問 不納欠損額と未収額が前年度より増えている。今後の対処は

答 町外の人で転出先が把握できないことがある。新規滞納者を出さないよう取り組む。

問 特定健診受診率と一人当たり医療費は

答 県下トップの男性53.6%、女性63.8%。一人当たり医療費は、県下3位と依然高い状況。

介護保険事業

問 介護の要支援、要介護の認定者数は

答 要支援が36人。要介護が365人。65歳以上の人口の16.2%。

問 歳出額が年々増加傾向にある。何か手立ては

答 自分で出来る力を落とさないよう、サービスの計画を立てる努力をしている。

問 要介護4と5の人は全て施設に入所されているのか

答 全てではない。多賀清流の里24人。犬上ハートフルセンター23人。老人保健施設はアロフェンテ彦根など、療養型は彦根中央病院など。

問 頭の健康チェックは

答 65歳以上が対象。アンケート調査に基づき対象者に実施している。



後期高齢者医療事業

問 被保険者数は今後、増加傾向。どう考えるか

答 年々増えている。しかし医療費は減っている。この要因を調べる必要がある。本町の医療費は県下でも17位と低い状況。

税条例の一部改正を審査しました。

国の税制改正を受け

- ① 個人住民税の見直し
- 給与所得控除・公的年金等控除は10万円引き下げ、基礎控除は10万円引き上げる。
- 給与所得控除は、上限1000万円が850万円に引き下げ、控除の上限を195万円とする。
- ② たばこ税の見直し
- 30年10月1日から3段階で1本当たり3円引き上げる。
- ③ 固定資産税の特例措置

問 控除配偶者が生計同一配偶者へと名前が変わったが、内容は

答 配偶者を3つの区分に分ける。配偶者の所得が38万円以下で控除をしている場合でも、本人の所得により配偶者控除も決まる。

・生産性向上を図るため、町が作成した導入促進計画に基づき、33年3月31日までの間に行われた中小企業の設備投資に対し、固定資産税を3年間ゼロとする。

④ 地方税の電子化

・資本金1億円を超える法人等の法人住民税等の申告をエルタックスにより行うことを義務化。32年4月1日から。

問 給与収入850万円未満は今までと変わらないと理解してよいか

答 その通りで、高所得者に対し、課税を多くしていく。

安全・安心のまちづくり



安定給水を

敏満寺浄水場

29年度事業の決算を審査 → 認定しました

(単位：万円)

| 区分(特別会計) | 歳入 | 歳出 | 事業内容 |
|----------|--------|--------|----------------|
| 下水道事業 | 4億9803 | 4億5059 | 維持管理・新規接続 |
| 農業集落排水事業 | 6427 | 5567 | 浄化施設(佐目・萱原)の管理 |

| 区分(企業会計) | 収益 | 費用 | 事業内容 |
|----------|--------|--------|----------|
| 水道事業 | 5億6771 | 3億1688 | 上水道使用料関係 |

特別会計の決算は

下水道事業

問 企業会計化に向けて資産はどのくらいか

答 今年度中に示せる。

問 一般会計からの繰入れが減ってきた。住宅の造成で加入者が増えたためか

答 繰入れを減らすために、工事費や経費を削減した。

農業集落排水事業

問 山間地でもあり過疎化が進んでいる。利用者増加も見込めない。公共下水道会計との統合は

答 法律の規制はない。各会計ごとの経営健全化を図っているので、統合する考えはない。

企業会計の決算は

水道事業

問 老朽管は

答 40年で老朽管となる。町内では4ケ字に11%残っている。更新を計画的に進める。

問 耐震管の現状は

答 町内では2社の製品(ダクタイル鋳鉄管)が主流である。近年はポリエチレン管も橋に用いる。

問 簡易水道の施設は

答 除却できず、資産として計上している。

問 経営は健全か。自己資本比率が48%で、平均65%より低い

答 健全化に向けて、今年度、経営戦略をたてる。その中で方針を明確にしていく。

陳情を審査しました

万博の大阪誘致を

陳情名

・2025日本万国博覧の大阪・関西への誘致に係る賛同の意を示す決議について(依頼)

陳情者

滋賀県町村議会議長 会長 杉浦和人

賛成意見

- ・前回の大阪万博から50年近く経っている。
- ・関西の活性化のためにも大阪への万博誘致は必要だ。
- ・観光など経済効果も期待できる。

反対意見

・大阪でのカジノと結びついている。賭博を助長するおそれもある。

結果

・賛成多数で、誘致に賛同することを決議すべきものとした。

期待される
整備効果は

◎産業振興

高速ICのアクセス圏の拡がりにより、工場から高速道路へのアクセスが強化されることで物流の円滑化による生産性の向上に期待。

多賀SICから10分圏の事業所が大幅に拡大される。

◎観光振興

多賀大社へのアクセス性の向上や、多賀大社を中心とした広域的な観光ネットワークの形成により、観光客の増加及び彦根城など周辺観光地からの集客に期待。

◎救急医療活動の強化

多賀町から第三次救急医療施設へのアクセス時間が7分短縮。

第三次救急医療施設の30分圏域が拡大し、多賀町人口の6割以上をカバー。
長浜日赤病院まで30分。

開通予定は

平成35年3月

事業費は

◎総事業費

26億3千万円

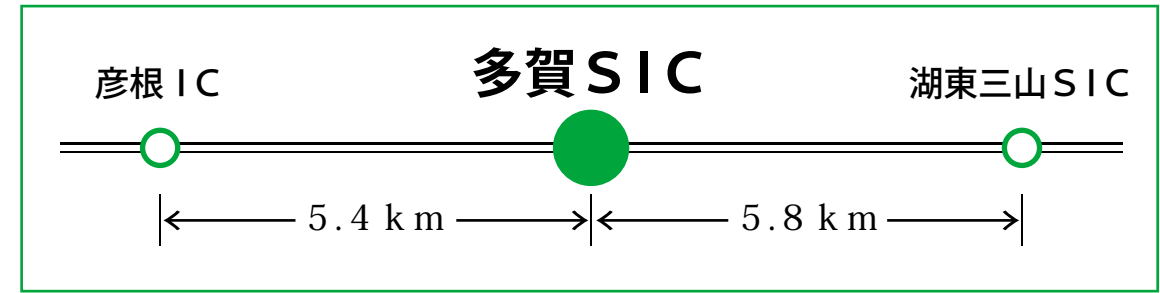
◎多賀町負担分

3億8千万円



スマートインター予定付近

敏満寺地先



路線バス(萱原・大君ヶ畑線)廃止
地元説明会始まる

現状は

長年地域の交通手段として利用されてきた湖国バスが、慢性的運転者不足で、今後も運行できない見込みがない。

| | 27年度末 | 29年度末 |
|-----|-------|-------|
| 社員数 | 18人 | 16人 |
| 嘱託数 | 27人 | 19人 |
| 合計 | 45人 | 35人 |

廃止後の計画は

- ◎愛のりタクシースターの充実で、4月から移動手段の確保を図ります。
- ①近江タクシースターで10人乗りジャンボタクシースター2台を導入します。
- ②萱原・大君ヶ畑線は、高校生の通学手段も確保を図ります(平日のみ)。
- ③近江鉄道多賀大社前駅の発車時刻に合わせ、愛のりタクシースターのダイヤ改正を行います。
- ④高校生の青春フリー定期券で愛のりタクシースターも乗車できます。
- ⑤路線バスと愛のりタクシースターの差額から、引き下げ・割引を検討します。

路線別の利用者数 (平日・中学生除く)

| | 日平均 | 1便当り |
|-------|-----|------|
| 萱原線 | 28人 | 0.7人 |
| 大君ヶ畑線 | 6人 | 0.5人 |

また、自動車の普及で利用者の減少は著しく、路線維持が困難な状況です。

子ども議会
12人の子ども議員が
7/30
まちづくりを問う

| 質問事項 | ページ |
|--------------------------|-----|
| 岸本 翔桜 ◎中学校にサッカー部新設を | 14 |
| 小山 羽蘭 ◎山間地区の医療や福祉は | 14 |
| 上池 莉乃 ◎川相の住みやすい環境づくりを | 14 |
| 中居 龍舞 ◎絵馬通りのこれからは | 14 |
| 西澤 昊汰 ◎多賀町の化石発掘状況は | 14 |
| 古石 健太郎 ◎これからのまちおこしは | 14 |
| 西倉 悦梨 ◎大滝地区の空き家対策は | 15 |
| 高橋 楓真 ◎多賀町内の地域差解消策は | 15 |
| 大久保 里音 ◎多賀町内でのイベント開催は | 15 |
| 山口 純希 ◎多賀町のスポーツ振興は | 15 |
| 大橋 葉月 ◎獣害対策は | 15 |
| 杉原 陸 ◎少子・高齢化対策は | 15 |





大滝小6年 翔 翔

中学校にサッカー部新設を

問 中学校に入学してもサッカー部がありません。部活動は中学校入学後の大きな魅力です。サッカーの好きな友達・仲間も多くいると思いますが、サッカー部は新設できませんか。

教育長 答 中学校では部活動は顧問の先生の指導のもと、様々な人との豊かなつながりから、学習意欲の向上、責任感や連帯感が身につく自信を持つなど、いろいろな学びの場でもあります。

川相の住みやすい環境づくりを

問 年々子ども数は減っていますが、川相周辺では友達と仲良く遊ぶ場所も減っています。安心して遊ぶ場所がありませんか。大滝の木を使った遊具で子どもだけでも遊べる場所はできませんか。

企画課長 答 恵まれた自然に感謝し、木を使って林業を元気にして自然を守ることが大事なことから、高取山ふれあい公園の施設や中央公民館を建てています。川相区では、29年度に老朽化し危険な木製遊具を撤去し30年度に新たな遊具の設置を計画されています。



多賀小6年 西澤 昊汰

多賀町の化石発掘状況は

問 あけぼのパークでは、年々数回の化石発掘体験学習があります。アケボノゾウの化石以外でも見つければ、恐竜コーナーや発掘体験ができれば多賀町の良さをもうとアピールできるのでは。

教育次長 答 「パネルを掲示し説明」平成5年にアケボノゾウが発見され、教科書に紹介されました。恐竜の化石が見つければ、多賀町の知名度がアップすると思われれます。第6次の発掘を行い、74人が登録され、町内から22人が参加されています。発掘の許可申請や県内外の研究者との調整も必要で、講演会も開催します。



多賀中1年 羽蘭 小

山間地区の医療や福祉は

問 私の住む山間地区は、過疎化で高齢者が多くなっています。若い人々が、帰ってきたいと思える住み良い多賀町になるには、医療や福祉にどのような対策をしていますか。

福祉保健課長 答 高齢者には、元気でいきいきと暮らせるために、民生委員、福祉推進委員、日赤奉仕団会員さんと取り組みを推進しています。安心して子育てができる、様々な子育て支援策があり、育児相談・子育て中の親の教室・2歳児までの紙おむつやミルクの育児用品支給・中学生までの医療費無料化があります。子どもから高齢者まで、支援策を実施しています。



多賀中3年 中居 龍舞

絵馬通りのこれから

問 多賀町の観光名所の目玉は多賀大社です。多賀大社の入口付近は道路整備され、絵馬通りとして歴史ある多賀にふさわしい景観となりました。電車で訪れる観光客に喜んでもらえる歩道整備は。

企画課長 答 恵まれた自然に感謝し、木を使って林業を元気にして自然を守ることが大事なことから、高取山ふれあい公園の施設や中央公民館を建てています。川相区では、29年度に老朽化し危険な木製遊具を撤去し30年度に新たな遊具の設置を計画されています。



多賀中2年 健太郎 古石

これからのまちおこしは

問 多賀町の祭りや万灯祭は楽しみの1つですが、ほかに町をアピールできるものがあります。自然や歴史を生かした施設もあり、もっと知っていたための紹介する方法は。

町長 答 多賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略という計画を、来年度までの5年計画で、産業や観光、農林業、子育て、まちづくりなど多岐にわたります。また、(仮称)多賀スマートインターチェンジの5年後の完成をめざした道路整備、観光で訪れる方々に、おもてなしの心を持つことの大切さを推進していきます。



大滝小6年 悦梨 倉

大滝地区の空き家対策は

問 総合学習で空き家の勉強をしました。どの字も空き家が多く不気味で、あるだけで不安です。災害などで空き家が問題となって、空き家が減ると町の雰囲気も明るくなるのではないのでしょうか。

企画課長 答 町内の29年度調査では、312件の空き家があり、人口減少、少子・高齢化が進み、空き家は増加する傾向です。多賀町空家等対策計画を策定し、空き家・空き地情報バンクに登録いただき、購入や賃貸を希望される方に紹介し、空き家対策に取り組んでいます。



多賀小5年 大久保 里音

多賀町内でのイベント開催は

問 万灯祭やふるさと祭市など楽しいイベントに参加すると、とても良い経験となり、お祭りが来るのが楽しみです。ワクワクするお祭りやイベントなど企画があれば教えてください。

産業環境課長 答 近江多賀神あかりを多賀大社・胡宮神社・大滝神社・高源寺の4会場で、9月29日より11月30日までライトアップします。9月29日実施のちようちん行列は、多賀大社前駅から多賀大社までちようちん行列だけでも参加できます。



多賀中2年 葉月 大橋

獣害対策は

問 多賀町は自然が豊かですが、動物による被害も増えています。子どもが猪に追いかけられたり、熊に襲われる事故もあります。農作物への被害で農業に対する支援策はどのようなになっていますか。

産業環境課長 答 野生動物の中で猿や熊は、法律で保護動物と定められています。被害防止の啓発は、カメラ設置、鈴やラジオの携帯、広報紙などで予防に努めています。



多賀中1年 高橋 真

多賀町内の地域差解消策は

問 バス通学をしています。が、本数も少なく不便を感じています。多賀駅近くに引越した人もいます。このままでは、地域間の差が広がる一方ですが、このままではいのでしょうか。

地域整備課長 答 多賀町里づくりプロジェクトとして、山間地域の活性化に取り組み、具体的な目標を定め、人を増やすために何をすれば良いのかという事について、地域の方々と役場が一体となって協議を進めています。



多賀小6年 山口 純希

多賀町のスポーツ振興は

問 海洋センターで泳ぐと気持ちもスッキリし、体力づくりに効果的です。町民の健康づくりにもなり、年中可能なならば、多様なスポーツ振興を促すので、年間利用できないか伺います。

生涯学習課長 答 水泳の期間は海洋センターでは、7月1日から8月31日まで。滝の宮スポーツ公園プールは7月21日から8月最終の日曜日までです。



多賀中3年 陸 杉原

少子・高齢化対策は

問 PTA活動で、資源回収をがんばりましたが、中学生のいない地域の方も手伝って下さいました。とてもうれしかったです。少子・高齢化に、どのような具体的な対策を行っていますか。

副町長 答 少子対策として、母子の健康診査費用・育児用品助成、お食初め食器贈呈、小・中学生の通学かばん支給、中学校卒業までの医療費無料や育児相談、遊び場開設など保護者の仕事と家庭の両立を支援しています。

町政を問う

一般質問って?

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもち、町長や教育長などの方針を問うものです。

| 質問事項 | ページ |
|--|-----|
| 川添 武史 ◎高宮池の今後の利用は ◎駅前開発は | 17 |
| 木下 茂樹 ◎災害・緊急時の町民への伝達対策は ◎兄弟・友好都市盟約で小・中学生の交流策は | 17 |
| 松居 亘 ◎水道基盤の強化は ◎改正民法の取り扱いは | 18 |
| 尾谷 忠之 ◎(仮称)多賀スマートインターチェンジの周辺整備は ◎まち・ひと・しごと創生総合戦略と林・農・観 再生計画は | 18 |
| 菅森 照雄 ◎河内風穴のトイレ改修と駐車場整備は | 19 |
| 山口 久男 ◎国民健康保険税の引き下げを ◎公共交通の再編は ◎道徳の教科は ◎おおたき子育て支援センターは | 19 |
| 大橋 富造 ◎町立児童館の有効活用は ◎地域における働き方改革は ◎小学生の外国語教育の方針は ◎住民要望の文書化は | 20 |
| 北川 久二 ◎ため池の安全確保と防災訓練は ◎快適に暮らせる生活基盤の充実は | 20 |
| 森 令三 ◎通学路の安全推進は(大滝小学校) ◎地震における通学路の安全確保は | 21 |

(※〇印は、掲載していません。)

質問1

高宮池の今後の利用は

一町長一

スマートインター建設時に活用を検討



川添 武史



有効利用を

高宮池

問 通称高宮池(奥谷田池)を今後どのように利用していくのか

町長 28年2月に、彦根市高宮財産区から町に譲与され、産業環境課で管理していた。

経年劣化の腐食で排水ゲートが水中破損し、西日本豪雨で水位が2m以上上昇して、周辺住民に心配をおかけしたが、今では安定している。

農業用水と雨水貯留の調整機能や水鳥が飛来する池でもあるが、スマートインターチェンジの事業進捗に合わせ、最も有効な活用を検討する。

問 スマートインターチェンジ整備事業が来年度より始まり、翌々年度には絵馬通り全体の整備が図れる。駅前開発は

質問2

駅前開発は

町長 スマートインターチェンジ整備事業が来年度より始まり、翌々年度には絵馬通り全体の整備が図れる。駅前開発は

町長

駅前周辺の開発準備を進める必要がある。勤労者体育センター、道路整備後の空き家等を活用した活性化策、新規誘致開発店舗の誘致、スマートインターチェンジ整備計画における道路網の整備など、多賀大社前駅前の大型駐車場整備の必要性もあり、優先度、必要性を考慮し推進する。

駅前開発は

町政を問う

多賀大社前駅周辺

質問1

災害・緊急時の町民への伝達対策は

一総務課長一

あらゆる方式を検討中



木下 茂樹

問 災害緊急時の町民への伝達対策は。

総務課長 ①総合情報配信システムによるメール配信、有線放送回線での各区分宛ファックスにより、避難所・情報伝達、広報車や一部地域での衛星携帯電話がある。

他の情報伝達手段としてFMラジオ、デジタル同報系防災行政無線システムなどがあるが、初期投資額・維持管理費の高額など、今後検討する。

②設備の老朽化・加入率など、改修・加入も含め有線放送と協議する。

③キリンビール、キリンビバレッジ、コメリ、ニイ

①町民への的確な早期伝達の避難誘導と確実な通報手段の構築は

②有線放送設備へ新たな活用法の可能性は

③企業・福祉施設との協議、緊急時の物品提供などの協定は

質問2

兄弟・友好都市盟約で小・中学生の交流策は

問 ①「柔道・剣道スポーツ少年団」にかわる他の交流候補は

②文化・教育での交流予定は

③修学旅行の民泊などで交流はできないか

生涯学習課長

①小・中学生親善使節団を募集し、日置市との交流事業を検討中。

②幅広い分野で交流検討したい。

③修学旅行は各学校が教育目的で実施するため民泊は考えていない。



緊急時対応は

有線放送スピーカー



質問1

河内風穴のトイレ改修と駐車場整備は

一町長一

協議の場をつくり進める

すが もり てる お
菅 森 照 雄



早期の改修を

河内風穴のトイレ



駐車場の整備を

河内風穴への道

問 周辺整備について、過去の質問に対し「駐車場整備、トイレ整備の必要性を認識され検討する」と答弁された。「河内風穴」は町の重要な観光資源である。夏場には県道多賀醒ヶ井線で観光客による渋滞が発生し、緊急車輛の通行ができない状況である。整備計画についてどのように進められているのか。

① トイレの改修計画を検討されたのか

② 駐車場の整備計画は

町長 **答** ①観光客の増加、片谷地域の活性化においても重要な観光資源であり、重要案件と認識している。地元関係者とトイレ整備に向けた具体策の協議の場を設けたい。

②駐車場不足による渋滞など現状での問題点を把握し事業主体や維持管理・運営にむけ協議を進めたい。

質問1

水道基盤の強化は

一地域整備課長一

インフラ施設として役割を果たす

まつ い わたる
松 居 巨



問 ①滋賀県水道事業の広域連携協議会は

②計画的な資産管理は

③法定耐用年数を超えた管路の存在と更新は

④公共施設等運営権の民間業者設定は

⑤指定給水装置工事業者の更新制度は

地域整備課長 **答** ①県、各市町、企業庁、学識経験者で構成。水道事業の広域的な連携強化について検討。

②今年度の中長期的な経営の基本計画である経営戦略を策定し、資産管理に備える。

③耐用年数を超えた管路は15.9kmある。管路の重要度に応じて計画的に更新を図っていく。

④命の水として安心・安全を確保するため、安易に民間委託できない。

⑤工事業者の資質の保持や実態との乖離を防止するため、適切に対応していく。

問 改正民法の取り扱いは

①国及び県からの改正民法の説明会は

②住民の周知は

③若年層保護対策は

④債権に関する住民相談の対応は

⑤成人年齢の引き下げに伴い成人式の扱いは

総務課長 **答** ①国・県ではまだ説明会はされていない。今後適切に対応していく。

②広報紙や有線放送で、適切に周知をはかる。

③若年層への消費者教育を充実させ、消費者被害の拡大防止に努める。

④消費者ホットライン188や消費生活センターの活用を進める。

生涯学習課長 **答** ⑤対象者・対象者の保護者の声を聞き、近隣市町の動向を注視し、実施方法を検討する。

質問2

改正民法の取り扱いは

①国及び県からの改正民法の説明会は

②住民の周知は

③若年層保護対策は

④債権に関する住民相談の対応は

⑤成人年齢の引き下げに伴い成人式の扱いは



質問1

国民健康保険税の引き下げを

一税務住民課長一

引き下げは難しい

やま ぐち ひさ お
山 口 久 男

問 ①国保の加入者負担率が高いがその認識は

②国保加入者の所得の状況は。国保収入総額に対する国庫負担は

③一般会計からの繰入で国保税の負担軽減を

④子育て世帯の負担軽減のため、均等割の軽減措置を求めることは

税務住民課長 **答** ①高いことは認識している。国民皆保険の受け皿となっており、高齢者や無職の占める割合が高く、医療費必要者が多いことが要因。

②一人当たり所得は55万円となっている。県下9番目の所得水準。国庫負担は医療費の41%。

③町全体の予算を圧迫するため、法定外繰入は段階的に解消していく。

④町では、様々な子育て施策をしているため、均等割の軽減措置導入は考えていない。

問 ①国保の加入者負担率が高いがその認識は

②国保加入者の所得の状況は。国保収入総額に対する国庫負担は

③一般会計からの繰入で国保税の負担軽減を

④子育て世帯の負担軽減のため、均等割の軽減措置を求めることは

公共交通の再編は **問** ①住民説明会の今後のスケジュールと住民の意見集約は

②説明会での要望は

③説明会に出られない高齢者、住民へのアンケートの実施は

④交通不便地の利便性の確保は

⑤無料の巡回バス運行免許証返納者や高齢者の料金割引は

企画課長 **答** ①9月から11月までに6集落で開催。意見は全て公共交通活性化協議会へ情報提供をする。

②公共交通活性化協議会で個々に検討する。

③予定していない。

④ジャンボタクシーは一般の方にも利用できる。

⑤費用負担が大幅に増加するため、検討する予定はしていない。

質問1

(仮称)多賀スマートインターチェンジの周辺整備は

一地域整備課長一

地域の声を聞き進める

し 之 だ だ た に お
尾 谷 忠 之



交差点が課題

敏満寺地先

問 ①国道307号の凍結・積雪による渋滞、事故対策は

②尼子から四ツ屋までの道路拡幅は

③四ツ屋トンネル交差点の安全対策は

④県道佐目敏満寺線と上り線アクセス道路交差点の安全対策は

⑤アクセス道路の除雪対策は

地域整備課長 **答** ①事業化検討路線として整備計画がある。県と協議していきたい。

②現在のところ、拡幅する計画はない。

③通行車両の動きを精査し、対策を検討する。

④警察の意見を聞き、詳細検討を進める。

⑤それぞれの道路管理主体が行うことになる。

問 ①重要業績評価検証シートの公表は

②再生計画推進協議会の設立は

③木材一貫生産体制構築の基礎は

④特産品直売所の計画は

⑤地域ブランド認定創設事業の取り組みは

企画課長 **答** ①現在取りまとめ中で、近々、公表する。

産業環境課長 **答** ②再生計画推進協議会は設立されていない。

③公民館の木材調達で第一歩を踏み出した。

④生産、加工、販売の体制づくりには時間を要する。生産者の主体性を求めて生きたい。

⑤地域ブランド認定基準の作成とともに商標登録も必要と考える。

質問2

まち・ひと・しごと創生総合戦略と林・農・観再生計画は

①重要業績評価検証シートの公表は

②再生計画推進協議会の設立は

③木材一貫生産体制構築の基礎は

④特産品直売所の計画は

⑤地域ブランド認定創設事業の取り組みは



質問1

通学路の安全推進は(大滝小学校)

—地域整備課長—

地域の声を反映し協議を進める

もり 森 せい 三 令



通学路の安全を

川相地先

問 ①会議に提出される危険箇所の一連の流れは②合同点検で道路標識の要望、必要性はなかったのか③グリーンベルトの実施区間と進捗は

答 ①構成員による合同点検により対策箇所の検討。②今年度は設置せず経過観察とし現状把握。③現時点で実施区間未決定、協議が整い次第実施。

地域整備課長

①構成員による合同点検により対策箇所の検討。

②今年度は設置せず経過観察とし現状把握。

③現時点で実施区間未決定、協議が整い次第実施。



学校の庭石等の安全確保を

多賀小学校

問 ①ブロック塀・銅像・記念碑等の調査は②通学路のブロック塀に対する安全確保は③町管理施設の安全点検は

答 ①撤去・補強・立ち入り禁止等対応済み。②「防災マニュアルを作成」指導を徹底。

質問2

地震における通学路の安全確保は

①ブロック塀・銅像・記念碑等の調査は

②通学路のブロック塀に対する安全確保は

③町管理施設の安全点検は

教育次長

①撤去・補強・立ち入り禁止等対応済み。

②「防災マニュアルを作成」指導を徹底。

総務課長

③安全点検が必要なブロック塀は無し。

質問1

町立児童館の有効活用は

—生涯学習課長—

子どもが遊べる公園を検討

おお 橋 とも 富 造



子どもが遊べる公園を



児童館の遊具

問 児童館の移設と、子育て環境を整えた野外公園へのシフトは

答 解体移設の予定はないが幼児、子どもが遊べる公園については協議し、方向性を見出す。

問 働き方改革への取り組み、状況と見解は

答 まち、ひと、しごと創生総合戦略にて労働者の安心就労、子育て支援の充実、定住支援の取り組み推進に努める。

質問2

地域における働き方改革は

働き方改革への取り組み、状況と見解は

副町長

まち、ひと、しごと創生総合戦略にて労働者の安心就労、子育て支援の充実、定住支援の取り組み推進に努める。



外国語教育の方針は

多賀小学校

問 現在の5・6年生での外国語活動が2020年からは教科となり、外国語教育と教員の能力向上が重要である。多賀町の教育方針は

答 外国人英語指導助手を雇用し、充実を図り独自に1・2年生から基本的な表現活動を実施する予定である。

質問3

小学生の外国語教育の方針は

現在の5・6年生での外国語活動が2020年からは教科となり、外国語教育と教員の能力向上が重要である。多賀町の教育方針は

教育長

外国人英語指導助手を雇用し、充実を図り独自に1・2年生から基本的な表現活動を実施する予定である。

町政を問う

町政を問う

質問1

ため池の安全確保と防災訓練は

—町長—

中長期改修計画をしっかりと作成

きた がわ きゅう じ 北川 久二



ため池の安全を



敏満寺大門池

生活基盤の充実を



道路舗装箇所

問 多くのため池の経過年数が100年から300年。決壊し下流の人家等に大きな被害が発生しないよう、各管理者へ積極的に働きかけるとともに、財政支援も必要では

答 中長期の改修計画をしっかりと作成し、住民の生命と財産を守り、ため池が持つ多面的機能を維持する。

問 職員非常招集訓練の実施はされたか

答 年度、台風・地震等を想定したメール配信招集訓練を実施している。

問 地域整備課長

答 ①29年度は24集落139件で28件対応した。

問 町長

答 ②300万円を維持。必要に応じ補正対応する。③まちづくり活動支援交付金の活用を。

問 快速に暮らせる生活基盤の充実は

答 ①要望された自治会数と要望件数、対応された件数は

②毎年度300万円の予算を増額する考えは

③地元負担の在り方の見直しが必要では

表紙写真募集!!

『議会広報たが』の表紙写真を募集いたします。



- 【募集内容・要件】**
- ◎町内で撮影されたもの
 - ◎未発表のオリジナル作品
 - ◎被写体の肖像権・財産権・使用权の承諾が得られているもの
 - ◎デジタル画像で撮影されたもの
- 【募集方法】**
- ◎データの持ち込みまたはメールでご応募がございます。
 - メール本文には、氏名・電話番号・撮影日・撮影場所を記載ください。
 - ※広報常任委員会で選考し、ご応募いただきましたお写真の返却はいたしませんので予めご了承ください。
 - ※詳細はHPにも案内しております。

気軽に懇談しませんか?

私たちは、議会活動の充実を図るため、各集落や各団体の皆さまとの懇談会を開催しています。

懇談会は、随時受付をしています。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきます。お気軽にご連絡ください。

議会事務局 ☎48-8126 (有線)2-2011



まち・ひと・しごと!!

第7回

地域おこし協力隊を経て養鶏農家に

水谷在任

山下 政満さん

多賀町との出会い

大阪から多賀町へ移住したきっかけは、地域おこし協力隊でした。

ダム建設が中止となった水谷で活動を行ううなかで、沢山の方々に支えていただき、是非この多賀町に定住したいと考えるようになりしました。

大阪ではシステムエンジニアとしてインターネット関連の仕事をしていましたが、いつか農業を生業にしたいという思いがありました。試行錯誤を重ね、養鶏農家になることに決めました。

そして無事3年間の任期を終え、水谷に定住することになりました。

水谷に定住して

何かと忙しいですが、地域の方に支えられ、充実した楽しい毎日を過ごしています。

沢山の方々から米ぬかや野菜の間引き菜、そば殻などをいただき、鶏たちの餌として与えています。ケージに入らずに平飼いで、できる限り自然に近い飼育方を目指しています。



おいしい卵を届けます

これからについて

協力隊の時にも行っていたお米づくりや、畑で野菜も育てています。

収穫した野菜や卵は、毎週月、水、土曜日に多賀大社前駅で開催されている「もんぜん市」に出荷しています。是非一度お越しください。



収穫野菜の販売

もんぜん市のみなさん

養鶏業だけではなく、様々なことに携わっていきたく思っています。

多賀町に移住して今年で5年目になりますが、幸いにも沢山の方々から声を掛けていただき、新しいことに挑戦する毎日です。

得意分野を活かして、少しでも多賀の発展、活性化に寄与できるよう努力していきます。



にぎわう「もんぜん市」

議会を傍聴してみませんか？

12月定例会の日程予定

| 会期 | 本会議が傍聴できます。 |
|------------------|--------------------|
| 12月4日 | 4日(火) 9:30～ 議案審議 |
| ～ | 5日(水) 9:30～ 一般質問 |
| 12月21日 (18日間) | 21日(金) 13:30～ 議案審議 |

※日程は変更になる場合があります。

議会事務局 ☎48-8126 (有線) 2-2011

編集後記

今秋は大型の台風の影響が多く、さらなる安全の確保や、防災の取り組みが強く求められています。住民どおしのつながりの尊さや、協力の大事さを改めて実感しました。

今回の議会では、町の決算を審査しました。昨年度の事業実績を審査して、新年度の予算編成にどう活かすのかを話し合いました。皆様からのご指摘やご意見をお寄せください。

川岸 真喜 記

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
☎0749(48)8126 FAX 0749(48)8131
有線 2-2011

ホームページ <http://www.town.taga.lg.jp/>